

東海岸地域活性化のための大型MICE施設誘致の要請決議

沖縄県は、2020年の運用開始を目指す大型MICE施設の建設地選定は、次期知事に委ねることを、11月19日付沖縄タイムスは報じた。翁長新県知事には「西高東低」の著しい経済格差を解消し、県土の均衡ある発展を実現することが、強く求められている。

西原町・与那原町は、2013年9月13日の両町長による県知事へのMICE誘致要請を皮切りに、他の追随を許さない誘致活動を展開してきた。11月17日に行われた「大型MICE施設マリンタウン地区誘致住民大会」では、2,000人もの住民だけではなく、東海岸地域の活性化を求める近隣の首長及び県議会議員も一体となって、マリンタウン地区へのMICE施設誘致を力強く訴えた。

2014年1月19日、両町の若者が中心となって「MICEよ来い！わきゃもん祭」を行い、責任世代として今後の東海岸地域活性化の必要性を訴えた。4月18日、中部地区町村議会議長会で「東海岸活性化のためのMICE関連施設の誘致要請について」が、全会一致で可決されるという画期的な決議も行われた。

このように、大型MICE施設の中城湾港マリンタウン地区への誘致要請行動は、もはや西原町・与那原町だけに留まらず、東海岸地域の活性化を求める近隣市町村と一体となった誘致活動へと大きく発展した。

ちなみに、沖縄21世紀ビジョン基本計画では、東海岸地域の与那原町から沖縄市の地域で、海洋性レクリエーション施設等を活用した新たな観光リゾート空間の形成、スポーツコンベンション拠点の形成を図り、また人的・物的交流拠点の機能強化として、「西原・与那原地区のマリンタウンプロジェクト」も、整備の推進が位置付けられている。

中城湾港マリンタウン地区は、県が示した誘致要件である那覇空港30分圏内である。また、誘致予定地には12.6ヘクタールもの県有地があり、用地確保は容易で、誘致により県有地の有効活用も併せて実現する。

よって、本町議会は、東海岸地域の活性化及び県土の均衡ある発展並びに沖縄21世紀ビジョンを実現するためにも、改めて、下記事項の実現を強く要請する。

記

- 1 中城湾港マリンタウン地区へ、大型MICE施設を誘致すること。

2014年12月12日

沖縄県西原町議会

あて先 沖縄県知事、沖縄県議会議員